

# サバイデー通信

第4号

発行日 2022. 1. 31

発行者 生澤康二郎

※サバイデー (สบายดี) はタイ語で「元気です」という意味。

## 1 新しい生活様式

ナコームパトム聾学校に赴任して2ヶ月が経ちました。タイでも日本同様に、新型コロナウイルスのオミクロン変異株を中心とした感染者が急増しています。本校は、全寮制のため通常通り授業が行われていますが、感染対策も徹底されています。日本であまり見かけないものとしては、教員・生徒への定期的な抗原検査(ATK)の実施や、来校者へのワクチン接種証明書(2回)の提示などがあります。タイでも日本同様に、新しい生活様式の中で教育活動が行われています。



校内での抗原検査の様子

## 2 創立記念日→教師の日→生徒会会長選挙(1月17日)

1月17日(月)は、全校生徒で様々な行事を行いました。午前には創立記念行事です。本校の創立記念日(27周年)ということで、校内に6箇所ある仏像に全校生徒でお線香やお花などをあげました。その後は、僧侶が9名来校し、1時間程度お経を唱えました。1時間という長丁場でしたが、多くの生徒が胸の前で両手を合わせる合掌のポーズを崩すことなく、最後までお経に耳を傾けていました。「これぞタイ」「これぞ仏教文化」と強く感じた一コマでした。



午後は、1月16日の「教師の日」の振替行事が行われました。タイでは教師は、今も昔も人々の尊敬を受ける職業であり、まさに聖職という扱いを受けています。この日のために、事前練習なども行われました。当日、生徒は壇上で先生へお花を渡した後、拝礼をし、宣言をしてから先生の訓話を聞きました。タイには1年に2回教師の日があり、世界的に見ても先生に感謝を表す記念日が2回もある国は珍しいと言われています。



最後に生徒会選挙が行われました。9名の生徒会の中から1名の生徒会長を選ぶ選挙です。全校生徒が投票して1名の会長を決めました。即日開票で、全校生徒の前で投票数なども発表されるため、立候補者はハラハラした様子で投票結果を聞いていました。





生徒会会長（ヨック君）

### 3 タイの手話

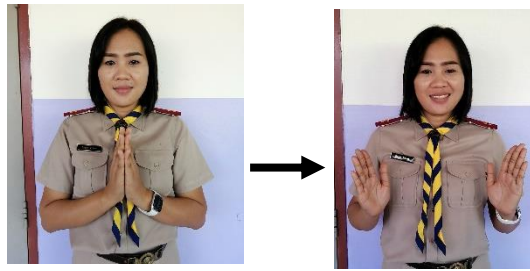
基本的なタイの手話を紹介します。アメリカ手話が元になっているため、日本の手話とは異なりますが、タイの聾者と話す機会があれば、ぜひ使ってみてください。

(1) こんにちは (サワディー)



両手を胸の前で合わせ、合掌をします。軽く頭を下げるのがポイントです。

(2) ありがとう (コップン)



両手を胸の前で合わせ、合掌をした後に手を肩幅に広げます。大きく広げるほど、感謝の度合いが強くなります。

(3) すみません (コートー)



右手の指先で、左手の手のひらを数回程度撫でます。

### 4 STEM 教育推進週間

1月24日から28日までは、STEM教育推進週間でした。STEMとは科学・技術・工学・数学の教育分野を総称した言葉で、21世紀型の新しい教育システムです。本校ではさまざまな活動が行われましたが、ここでは、全校生徒で行われた2つの活動を紹介합니다。まずはウォーターボトルロケット大会です。各クラスで製作したウォーターボトルロケットを持ち寄り、飛行距離を競いました。優勝は高等部3年2組と1年2組でした。高校生は作製時からインターネットなどで確認し、細部までこだわって作っていました。



次は、リサイクルドレスデザインコンテストです。捨てられたゴミから衣装を作ろうという活動です。優勝は高等部3年2組、2年2組、1年1組でした。CDやビニールシート、新聞紙、牛乳パックなど様々なものを使用して製作していました。

